



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ライドオン・エクスプレス

コード番号 6082

URL <http://www.rideonexpress.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長兼CEO (氏名)江見 朗

問合せ先責任者 (役職名)専務取締役兼CFO (氏名)渡邊 一正

(TEL) (03)5444-3611

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	12,291	—	641	—	634	—	362	—
25年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第3四半期	88	96	74	12
25年3月期第3四半期	—	—	—	—

- (注) 1. 当社は、平成25年3月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成25年3月期第3四半期の数値及び平成26年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。
2. 当社は、平成25年8月14日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
3. 当社は、平成25年12月3日に東京証券取引所マザーズに上場したため、平成26年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から平成26年3月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価として算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,808	—	2,052	—	35.3	—
25年3月期	4,307	—	958	—	22.2	—

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,052百万円 25年3月期 954百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
25年3月期	—	—	0.00	—	—	—	0.00	—	0.00	—
26年3月期	—	—	0.00	—	—	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	0.00	—	0.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	16,583	102.8	912	168.4	901	169.1	510	221.4	120	96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理」をご覧ください。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	4,495,000株	25年3月期	3,340,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	—株	25年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	4,071,667株	25年3月期3Q	—株

- (注) 1. 当社は、平成25年3月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成25年3月期第3四半期における期中平均株式数(四半期累計)を記載しておりません。
 2. 当社は、平成25年8月14日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して「期末発行株式数」と「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日)における我が国経済は、政府の経済対策や、日本銀行の金融政策を背景に円安や株高が進行し、所得や雇用環境、消費者マインドの改善などが進み、景気はゆるやかに回復しつつあります。

当社の属する宅配食市場におきましても、高齢化社会の進展、女性の社会進出、小規模世帯の増加、インターネットの普及等により、今後も堅調に推移すると考えられます。

このような状況の下、当社は「ご家庭での生活を『もっと美味しく、もっと便利に』」をテーマに、調理済食材を中心とした宅配事業の展開を基本戦略とし、お客様に支持される価値ある商品づくりに取り組み、顧客の獲得、収益構造の強化を図ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は売上高12,291百万円、営業利益641百万円、経常利益634百万円、四半期純利益362百万円となりました。

事業ごとの業績は以下のとおりであります。

① 宅配事業

FCを含むチェーン全体の店舗数においては、宅配寿司「銀のさら」を3店舗(直営店2店舗、FC店1店舗)、宅配御膳「釜寅」を5店舗(FC店5店舗)、提携レストランの宅配代行サービス「ファインダイン」を3店舗(直営店3店舗)出店いたしました。また、直営とFCの区分が変更されたことにより、直営店は「銀のさら」4店舗、「釜寅」1店舗の純増となっております。

これにより当第3四半期会計期間末における店舗数は569店舗(直営店157店舗、FC店412店舗)、拠点数は371拠点(直営店83拠点、FC店288拠点)となりました(※)。

※当社チェーンでは、商品を宅配するための事業所を全国に配置しており、これを「拠点」と呼んでおります。

また、消費者に提供するメニューの種類ごとに設置される設備(宅配寿司「銀のさら」や宅配御膳「釜寅」等)、及び「ファインダイン」における消費者が選ぶことのできる提携レストランのラインナップ(メニュー)毎の配送機能を「店舗」と呼び、一つの「拠点」に複数の「店舗」を設置することがあります。

宅配寿司「銀のさら」の商品戦略としましては、人気の高い「大トロ」や「トロサーモン」、宅配御膳「釜寅」では「うに釜飯」といった期間限定商品を展開いたしました。また、「銀のさら」においては、年末年始を含む12・1月が、年間において一番お客様のご利用数が多く、収益を獲得できる時期であるため、高級食材を使用した期間限定桶を提供することにより、お客様の満足度及び収益性の向上に努めてまいりました。

販売戦略としましては、繁忙期であるお盆・年末年始を中心に、テレビコマーシャルやメディア放映を実施いたしました。既存顧客に対しては、注文回数、注文頻度等、顧客の属性にあわせた計画的なDMによる再注文促進活動を行っております。また、9月より、ファミリー層への認知度、売上向上に向けて、お子様に人気のあるアニメキャラクター「はなかっぱ」とのタイアップ企画を実施しております。

WEBにおける販売促進においては、映像配信サービス「TSUTAYA TV」の視聴ポイントをプレゼントする「おうちでー!!!すし×映画」共同キャンペーンを9月～11月まで実施いたしました。また、引き続き、WEB限定プレゼントキャンペーン等の実施、WEB会員の属性にあわせたメールマガジンの配信等、WEBを活用したCRM(※)の確立に向けた活動を行ってまいりました。

※Customer Relationship Managementの略。顧客接点での情報を統合管理し、顧客との長期的な関係性を構築、製品・サービスの継続的な利用を促すことで収益の拡大を図るマーケティング手法。

宅配弁当「銀のお弁当」においては、商品仕入方法を変更したことにより、全ての店舗で土日祝祭日の営業が可能となりました。商品戦略においては、寿司や、うなぎを用いたイベントメニューの実施、販売促進においては、一般シニア層に向けた販売促進に加え、ケアマネージャーやデイサービスなどの介護施設への販売促進活動を行い、新規顧客獲得・リピート促進に努めてまいりました。

宅配代行業態であります「ファインダイン」においては、提携レストランの新規獲得に向けた営業活動の強化、及び販売促進物の見直しによる販促費の低減に取り組みました。また、デリバリーの効率化のための設備の変更等、生産性の向上に向けた活動を行ってまいりました。

これらの施策の結果、宅配事業における当第3四半期累計期間の売上高は、12,277百万円となりました。

② その他事業

その他の事業として展開しております「リトルアーティスト」においては、住宅メーカー等にむけての営業活動を積極的に行い、ブランドの認知・注文数向上に向けて活動してまいりました。

これらの施策の結果、その他事業における当第3四半期累計期間の売上高は、13百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は5,808百万円となり、前事業年度末と比較して1,501百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が502百万円、季節的な売上変動に伴い売掛金が744百万円、原材料及び貯蔵品が146百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は3,756百万円となり、前事業年度末と比較して407百万円増加いたしました。これは主に、季節的な売上変動に伴い買掛金が808百万円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金が129百万円、未払金が53百万円、法人税等を納付した事により未払法人税等が11百万円、長期借入金が130百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は2,052百万円となり、前事業年度末と比較して1,094百万円増加いたしました。これは主に、新株予約権の権利行使による増資及び、新規上場による公募増資により資本金、資本剰余金がそれぞれ367百万円、四半期純利益の計上により利益剰余金が362百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成25年12月3日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今度様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,166,517	1,669,325
売掛金	1,058,066	1,802,796
商品	32,150	22,872
原材料及び貯蔵品	85,198	231,732
その他	201,319	396,617
貸倒引当金	△17,717	△39,592
流動資産合計	2,525,533	4,083,752
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	534,839	515,968
その他(純額)	205,979	177,702
有形固定資産合計	740,818	693,670
無形固定資産		
	238,354	254,407
投資その他の資産		
差入保証金	564,139	560,977
その他	342,815	320,915
貸倒引当金	△104,387	△104,980
投資その他の資産合計	802,567	776,912
固定資産合計	1,781,740	1,724,990
資産合計	4,307,274	5,808,742
負債の部		
流動負債		
買掛金	858,138	1,666,974
1年内返済予定の長期借入金	343,539	214,240
未払金	730,525	677,298
未払法人税等	210,783	199,277
資産除去債務	11,076	1,736
その他	197,402	128,963
流動負債合計	2,351,465	2,888,489
固定負債		
長期借入金	567,001	436,030
資産除去債務	106,419	110,613
その他	324,384	321,577
固定負債合計	997,805	868,220
負債合計	3,349,270	3,756,710

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	325,856	693,114
資本剰余金	229,606	596,864
利益剰余金	399,832	762,054
株主資本合計	955,296	2,052,032
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△307	—
評価・換算差額等合計	△307	—
新株予約権	3,014	—
純資産合計	958,003	2,052,032
負債純資産合計	4,307,274	5,808,742

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	12,291,242
売上原価	6,803,833
売上総利益	5,487,409
販売費及び一般管理費	4,845,831
営業利益	641,577
営業外収益	
受取利息	1,799
受取手数料	1,010
保険収入	940
その他	406
営業外収益合計	4,155
営業外費用	
支払利息	8,623
その他	2,174
営業外費用合計	10,797
経常利益	634,935
特別利益	
固定資産売却益	25,536
その他	7,126
特別利益合計	32,663
特別損失	
固定資産除売却損	2,452
加盟店舗買取損	4,074
リース解約損	2,360
その他	811
特別損失合計	9,699
税引前四半期純利益	657,900
法人税等	295,679
四半期純利益	362,221

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、報告セグメントが宅配事業のみであり、当社の業績における「その他事業」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年6月28日付で新株予約権の権利行使による増資を行いました。また、平成25年12月3日における東京証券取引所マザーズへの株式上場にあたり、平成25年12月2日を払込期日とする公募増資を実施いたしました。この結果、第3四半期累計期間において、資本金及び資本準備金がそれぞれ367,257千円増加し、当第3四半期会計期間末において、資本金が693,114千円、資本剰余金が596,864千円となっております。

(6) 重要な後発事象

(第三者割当増資)

当社は、平成25年10月28日開催の取締役会において、野村證券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社の株式の売出し（貸株人から借入れる当社普通株式156,000株の売出し）に関連して同社を割当先とする第三者割当による新株式発行を決議し、平成26年1月6日に払込みが完了いたしました。

その概要は次のとおりであります。

①発行する株式の種類及び数	: 普通株式	156,000株
②割当価格	: 1株につき	1,840円
③発行価額	: 1株につき	1,521.50円
④資本組入額	: 1株につき	920円
⑤払込金額の総額		: 287,040,000円
⑥払込期日		: 平成26年1月6日
⑦割当先		: 野村證券株式会社
⑧資金の用途		: 平成27年3月期以降に既存事業の新規出店計画及びWeb受注システムに係るシステム関連費用に充当する予定であります。